

RELATIONS MAGAZINE!

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌
2023 JUNE vol.13



鷹栖

地域に関わる
若者たちの
取組紹介 1

小さなチームとチャレンジが生まれる場づくり。

RELATIONS MAGAZINEバックナンバー

2020年春より発行してきたRELATIONS MAGAZINEのバックナンバーはWEBよりご覧いただけます。紙媒体での送付をご希望の方は、お気軽に事務局までお問合せください。

- Vol.5 【特集】 ボランティアメンバーの本音。
- Vol.6 【特集】 地域と教育にふれる～地域と教育にふれる滞在型プログラムの事例から
- Vol.7 “179RELATIONS.net”は どうやってつくられているのか
- Vol.8 持続可能な地域の未来を考えるテキストブックを作成しました！
- Vol.9 【特集】 浜益版集落の教科書ができました
- Vol.10 ”リレフェス22”オンライン関係人口フェスティバル開催決定！
- Vol.11 オンライン関係人口フェスティバル”リレフェス22”開催しました！
- Vol.12 持続的な北海道に向けた関係人口を活用した次世代育成事業 活動報告書



Vol.1～12は休眠預金を活用した「北海道未来社会システム創造事業」の助成を受けて作成しました。

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、北海道各地の”「地域に関わる「入り口」”をつくります。ひとつひとつのまちや活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性を大切にしながら、若者をはじめとする次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域がつくられていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ① 「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます。
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS.net」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や活動がありましたらお気軽にお問合せください。



運営団体「NPO法人ezorock」とは



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立されました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

2022年度実績
活動日数 471日 人数のべ1,814人 地域 21市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

RELATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock 

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB <https://www.ezorock.org/> <https://lin.ee/ugUhj0g>

<https://www.facebook.com/ezorock/> <https://twitter.com/ezorock/>

<https://179relations.net/>



<https://www.ezorock.org/>





右 地域外の若者と一緒にかまどづくり
上 新しい遊び場をつくった「パレットキッズ」
下 DeerHunterではエゾシカの被害と命について伝えた

TOPIC 2

うまれてきた活動

10のチームが動き出した。これまでに生まれたプロジェクトは10個。子育て世代を対象に公園を活用した遊びの提案を行う「パレットキッズ」は継続して活動を実施してきました。町内の人々が集まる機会が少ない、先代の技術や知恵を継承する機会をつくりたいという想いで実施された「かまどづくり」は町内外の若者たちを巻き込み、多世代での交流の場を実現。また、昨年度は100名以上が集まって開催されたのは、多くのメンバーが活躍した「劇団1010」。町内施設の活用に取り組みました。いずれの活動でも、会議を重ね、小さなトライアル、上手くいったこともそうでないことも振り返り、次に繋げるサイクルを回してきました。

若者によるまちづくり事例

2021年度スタート
今年で3年目

鷹栖町 まちlabo(まちづくり研究室)

北海道内各地では地域内外から若者たちが自分たちのまちを、これからのまちを考えて活動しています。今回ご紹介するのは、鷹栖町が企画する「まちlabo」です。



関心のあるテーマを持ち寄り、企画を計画する

TOPIC 3

参加者のこと



上 一年に一度は先進地へ研修へ赴く
下 企画立案は参加者自身のやってみたくて実現する時間

半年かけてチームになるまちlaboの研究生は鷹栖町在住、または鷹栖町と関わりのある10〜40代です。高校生、行政職員、農家や自営業者、公民館主事等普段の所属は様々。何か鷹栖町に関わりたいと町外から通う方もいれば、こういう企画はあまりなかったことがないが何かチャレンジしてみたいか、と思っていう方まで幅広い。それぞれの持っているスキルも様々なのが印象的です。約半年間のプロジェクトが終了すると、初めましてだったチームがすっかりチームになり、次の計画を練り始めます。



仲間を得たことで長年の思いを実現できた方、得意を生かした役割分担でプロジェクトをやり遂げた達成感。チームで進める大切さを、事務局も実感を持って学ぶ機会となりました。(鷹栖町役場 大内係長)

最近の179リレーションズ

pickup

鷹栖町に関わる若者と鷹栖町出身の若者がコラボして、RADIOを放送しました！様子は町の広報誌「広報たかす」でも取り上げられました。



pickup

「はまます夜学」を開催しました。石狩市浜益区で地域内外の人たちが混じりながら、一緒に学ぶ講座です。第一回は「対話の場づくり」をテーマに話し合いのスキルについて学びました。



WEBマガジン最新記事

No187
これからも「あったかす」と共に
No179
SMOUT移住研究所に掲載
されました！



編集後記

鷹栖町を訪れる度に、町民のみなさんの明るさや繋がりや強さに驚かされます。まちlaboに関わらせていただいていた一番印象的だったのは、活動報告会です。上手くいったこともそうでないことも、そのプロセスから分析、反省点まで丁寧に報告し、かっこつけることなく、赤裸々に報告されていきます。そこには自分たちでプロジェクトを運営してみる価値やさらにチャレンジしてみたいことが語られています。今年度も楽しみです。(水谷)



まちlabo (まちづくり研究所)

鷹栖町まちづくり推進課
北海道川上郡鷹栖町南1条
3丁目5番1号
0166-87-2111

TOPIC 1

まちlabo とは

旭川市に隣接する人口約6600人のまち、鷹栖町。大雪山連峰を望みながらもアクセス良好。豊かな農村風景が広がる、人々の暖かに触れられるこのまちで、若者たちによるまちづくり活動が行われています。

つながりを広げながら、まちづくりにチャレンジする

若い世代の方が同世代とのつながりを広げ、仲間と一緒に楽しみながらまちづくりにチャレンジできる環境を整えることを目的に、令和3年度からスタートしたのが「まちlabo(まちづくり研究室)」です。10〜40代の町内に住まう方は、鷹栖町と関わりを持つ方が研究生として集まり、活動しています。まちづくりの意義やプロジェクト運営を学ぶ講座と視察研修を組み合わせて学びながら、自分たちのやってみたくて企画を組むことで、チームをつくって、プロジェクトの運営を行っています。実践活動の中では、鷹栖町外の人々も巻き込むなど、活動は町内に留まらず広がっています。



右 講師による講演。まちづくの意義や会議の方法について学ぶ
左 まちづくりに取り組むと町への理解も進む

人と人、人とコミュニティなど、「関わり」が増えることで地域の幸せが増えていく未来を、まちlaboなどを通して実現できればと願っています。(鷹栖町役場 大内係長)